

## 第2期早島町まち・ひと・しごと創生総合戦略 の効果検証有識者懇談会における主な意見

### (1) 総合戦略の取り組みと成果について

- ・早島町のような人口規模の場合、小さな開発でも大きく影響があるため、数値の推移だけでなく、要因と合わせて議論する必要がある。
- ・早島町独自の戦略というだけでなく、近隣の市町との広域的な戦略を加味した将来展望が必要である。
- ・全国的に人口が減少する中で、人口が増えていることは望ましいことである。
- ・無料職業紹介所をもっとPRして、働きやすい町になるような施策を実施するべきと考える。
- ・人口の増減については、特殊な要因を除いた数値の分析も行う必要がある。
- ・現在、国道2号より南に宅地が少なく、これから子供を産み育てていく世代が家を建てられない状況である。市街化調整区域の50戸連たん制度を廃止し、駅の東西、役場周辺の市街化編入を計画していると思うが、一度に開発すると人口の年齢構成が歪な形となるため、諸々調整しつつ宅地が供給できるような対策を実施すべきである。
- ・指標の評価が望ましい状態と望ましくない状態が同じくらいの結果となっているが、町民の意思とは関係ない事情で指標を下げることとなった項目もあるはずなので、数値で測ることのできない町民の想いを汲んだ施策の展開を行うことを意識すれば、より望ましい状態になってくると思われる。
- ・将来的な人口減少を見据えて、人口が増えている今のうちにどうすれば人口が減っても幸福を感じ、住み続けられるのか考えておく必要がある。

## (2) 地方創生推進交付金を活用した事業について

- ・町民の満足度が高まっているのか、域外からの評価が高くなっているのか検証すべきである。
- ・全体的に指標値は上がっていると思うが、これが継続的に高まっていくものかどうかの検証と、高めるための戦略があればよいと考える。
- ・ふれあいの森公園の駐車場が有料になったため、気軽に行けなくなったのではないかと考える。施設整備と利用料のバランスが大切である。
- ・駅の利用を高めたい考えは分かるが、車の利用が多いため、拠点ごとの駐車場がもう少しあってもよいのではないか。
- ・町には面白い取組があり、民間事業者も様々なサービスを提供しているため、広報に力を入れ、もっと魅力を発信していくべきである。
- ・イベントの企画等においては、町内の方だけで考えるよりも、地域おこし協力隊など町外の方の意見を取り入れることで新しいイベントができる。
- ・アルカレの冊子のクオリティは高いが、高齢者に向けて大きめの冊子を作成するともっとよい。